

～ふるさとの魅力とあなたの笑顔が輝く情報誌～

広報 田野畑

Tanohata Village Public Relations Magazine

4

April.2023

広報たのはた No.673

巣立ちの時――

十人十色

佐藤 香子さん

がんばってます

三浦 健太郎さん

わが家のアイドル

中村 天奏ちゃん

今月の表紙

3月14日、田野畑中卒業式。28人の卒業生が思い出の学びやを巣立ち、新たなステージへと旅立ちました(関連記事は2、3ページ)。



君たちの進む未来は希望に満ちあふれている
これから先 どんな困難が待ち受けていても
自分を信じて 仲間を信じて 歩いていこう

学びやを巣立つ君たちの
新たなステージでの活躍を願って—
卒業 卒園 おめでとう



たのはた児童館 (16日・卒園児4人)

卒業・卒園おめでとう
祝
卒業・卒園

Congratulations
on your
graduation!

サクラ咲け
学びやを巣立つ君たちに

田野畑中 (佐々木敏之校長・生徒80人) と田野畑小 (山下幸校長・児童131人) の卒業式、たのはた児童館 (横田千穂子館長・園児11人) と若桐保育園 (中里幸子園長・園児55人) の卒園式がそれぞれ行われました。

もうすぐ1年生

夢に向かって 大空へ羽ばたけ!



齋藤 結愛ちゃん (鳥越)

けーきやせん



熊谷 新汰くん (鳥越)

しんかんせんの
うんてんしゆ



熊谷 新汰くん (鳥越)

じをか
おしごと



長尾 裕翔くん (鳥越)

せいびし



佐藤 結月ちゃん (鳥越)

あいどる



佐々木 奏くん (鳥越)

てつどうが
をこさる



阿部 幸音ちゃん (鳥越)

びよる



阿部 ももかちゃん (和野)

ほんやさん



町平 璃音ちゃん (鳥越)

ほんやさん



富山 鈴柳ちゃん (鳥越)

ひよごし



富山 莉愛ちゃん (羅智)

けーきやせん



金澤 優空ちゃん (鳥越)

あいどる



奥地 希月くん (鳥越)

けーきやさん



和山 楓奈ちゃん (和野)

しょうぼうし



山根 想貴くん (羅智)

かぐらを
おどるひと



山根 千寿くん (羅智)

りょうし



工藤 潤貴くん (西和野)

げーむじっぎょう



工藤 彩代ちゃん (鳥越)

あひな
あひな



川畑 瑛栖くん (羅智)

じえいたい

この春、田野畑小学校へ入学する新1年生は19人。
これから始まる楽しい小学校生活。
希望に満ちあふれ、入学を心待ちにしているみんなに
将来の夢を書いてもらいました。
「おおきくなったらなになりた〜?」

民生功労者



泉山 君子さん
(菅窪・73歳)

平成19年から令和4年まで民生委員および児童委員を務められ、本村の地域福祉に尽力されました。

民生功労者



故 道合 勇一さん
(明戸・享年81歳)

平成7年から28年まで民生委員および児童委員を務められ、本村の地域福祉に尽力されました。

自治功労者



熊谷 源一さん
(田代・70歳)

平成11年から令和2年まで農業委員を務められ、農業振興に尽力されました。

統計功労者



工藤 美保子さん
(島越・67歳)

平成2年から26年まで統計調査員を務められ、本村の統計思想の普及に尽力されました。

民生功労者



奥地 キミ子さん
(菅窪・73歳)

平成19年から令和4年まで民生委員および児童委員を務められ、本村の地域福祉に尽力されました。

民生功労者



熊谷 喜枝子さん
(浜岩泉・71歳)

平成19年から令和4年まで民生委員および児童委員を務められ、本村の地域福祉に尽力されました。

治安功労者



佐々木 茂さん
(切牛・70歳)

昭和56年から平成29年まで消防団員として消防防災業務に精励し、生命財産の保護に尽力されました。

治安功労者



秋田 秀昭さん
(沼袋・70歳)

昭和53年から平成29年まで消防団員として消防防災業務に精励し、生命財産の保護に尽力されました。

治安功労者



畠山 保幸さん
(田野畑・70歳)

昭和50年から平成29年まで消防団員として消防防災業務に精励し、生命財産の保護に尽力されました。

治安功労者



中嶋 恭一さん
(羅賀・69歳)

昭和56年から平成29年まで消防団員として消防防災業務に精励し、生命財産の保護に尽力されました。

治安功労者



佐々木 哲夫さん
(巢合・72歳)

昭和50年から平成30年まで消防団員として消防防災業務に精励し、生命財産の保護に尽力されました。

治安功労者



畠山 広光さん
(真木沢・61歳)

昭和63年から令和3年まで消防団員として消防防災業務に精励し、生命財産の保護に尽力されました。

自治功労者



松嶋 一男さん
(七滝・90歳)

平成8年から29年まで農業委員を務められ、本村の農業振興に尽力されました。

自治功労者



佐々木 仁志さん
(北山・69歳)

平成11年から令和2年まで農業委員を務められ、農業振興に尽力されました。



表彰式に出席した受賞者と来賓の皆さん

令和4年度村勢功労者表彰式
村勢の発展に尽力
長年の功績をたたえ表彰

村は2月20日、令和4年度村勢功労者表彰式をホテル羅賀荘で開催。村勢の発展に尽力された14人の皆さんの長年の功績をたたえました。
佐々木靖村長は「各分野で優れた功績を残された皆さんの労苦は、村民の模範となるものだ。村民と共に心から敬意と感謝の意を表する」とあいさつ。
受賞者を代表して畠山保幸さんは「このような式を開催していただきとてもありがたい。皆さんのおかげで消防団員として42年間務めることができた。間もなく東日本大震災から12年を迎える。二度と同じような被害を出さないために、後世に語り継いでいかなければならない。これからも村の防災のために後方から支えていきたい」と感謝と決意を語りました。

村民一人一人の声を大切に 村民総参加のもとに 政策を立案、実行する

令和5年第2回村議会定例会が2月28日に開会しました。
村づくりの方向性や新年度の主要事業など、佐々木靖村長が行った施政方針の内容をお伝えします。



はじめに

本日ここに、令和5年第2回田野畑村議会定例会が開催され、令和5年度当初予算案や村政の重要案件をご審議いただくに当たり、村政運営に取り組み施策について所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ村民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

東日本大震災から間もなく12年が過ぎようとしています。ここにあらためて、大震災で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表します。震災復興に当たり、村では「心をひとつに未来に向けた復興」を目標に掲げ、取り組んできたところですが、引き続き、村民一丸となり、むらづくりにまい進していきます。

また、令和2年に確認された新型コロナウイルス感染症は、全世界に感染拡大し、医療や経済をはじめ、人々の生活に大きな影響をもたらしています。このことは、本村においても例外ではなく、今もなお、制約のある生活を余儀なくされています。

このような中、令和5年度は、村長就任以来、2回目の当初予算編成となります。村民の皆さまに公約として掲げた政策を着実に実現するため、総合計画に沿った各種施策を展開し、計画の基本理念である「参加・協働・創造」による持続可能なむらづくりを推進します。

村政運営の四つの柱

令和5年度の村政運営は、四つの柱を中心として、各種施策を展開します。

村政運営 1 少子高齢化・人口減少対策

人口減少は、現在、将来を問わず、村民生活のさまざまな分野に大きな影響を与える懸念があります。全国的に人口減少が進行していく中、「いかに人口減少のスピードや人口減少による悪影響を抑えられるか」という観点で鋭意探求し、取り組めます。

村では、保育料の無料化や医療費助成制度の拡充など、他の自治体に先行して子育て環境の充実を図ってきました。

しかし、平成30年度から年間の出生数が10人前後で推移しており、少子化に歯止めがかからない状況となっています。これらの課題に対応するためには、結婚から出産、そして、子育て環境をさらに充実させ、子育てや教育に係る費用助成の維持・強化、保育環境や小中学校の学習環境の改善が必要と考えています。

子育て世代への経済的な支援策として、育英奨学資金貸付事業、義務教育入学お

よび卒業祝金支給事業、修学旅行費用の一部助成、児童生徒の学校給食費保護者負担金の無償化を継続するほか、小中学校の休日における課外活動や部活動に対応する総合バスの運行など、保護者の負担軽減を進めます。

出生から高校生までの医療費助成、エンゼル祝い金の支給、インフルエンザワクチンの無料接種などの事業も継続します。

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」において、ワンストップ相談窓口による、出産前後の母子への心身のサポートを図ります。
子育てに役立つ情報を「LINE」で発信するなど、子育て真っ最中の保護者の方、村の子育て情報を知りたい方が気軽に相談できる環境づくりに取り組みます。



子育て環境の充実に努めます

令和5年4月には、次世代を担う子どもたちが健やかに育ち、より良い環境で集団生活を体験できるようにするために「若桐保育園」と「たのはた児童館」を統合し、認定こども園「たのはたこども園」を開園します。認定こども園は、現たのはた児童館の施設を改修し、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設とすることして、より充実した幼児教育および保育を実施します。



たのはたこども園の開園に向けて工事が進む(3月2日撮影)

高齢者福祉対策は、住み慣れた地域で安心して生活していただくため、保健事業と一体的な施策の展開が必要です。「地域包括支援センター」において、引き続き、きめ細やかな要介護支援者などの支援を行います。

教育面においては、小中連携教育を通して、心身の成長や学びの連続性の確保などに取り組んできたところですが、コロナ禍にあって多様な学習機会の不足が否めない状況となっています。

特に芸術に触れる機会の創出のため「岩手県青少年劇場」を開催し、子どもたちの情操教育の機会確保に努めたいと考えています。

また、諸課題に対応するため、田野畑村総合教育会議を通じて教育委員会や小中学校との連携をより一層深め、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、本村教育の振興を図ります。

小中学校に特別支援教育支援員をそれぞれ必要数配置するほか、中学校には、部活動指導員を村独自で配置し、教育活動の充実を図るとともに、教職員の勤務多忙化の解消を図ります。

小中学校のICT機器および一人一台のタブレット端末を有効に活用し、児童



一人一人の個性に合わせた教育の充実に努めます

生徒一人一人の個性に合わせた教育の充実に努めます。

本村において、人口減少と高齢化は顕著となっており、地域力の維持および強化ならびに地域の活性化を図るためには、村外の人材を積極的に受け入れ、その定住を図ることが不可欠となっています。

地域おこし協力隊制度を活用し、現在3名の隊員が村内で活動していますが、令和5年度においても、新たな隊員を募集することで都市部からの移住者を誘引し、産業および地域活性化に取り組みます。

また、移住者呼び込むためには、村の魅力発信のほか、住環境の確保・整備が欠かせません。引き続き、空き家バンク制度と移住支援情報の発信を行い、移住者の拡大を目指します。

村政運営

2

活力ある産業振興

農林水産業は村の基幹産業です。活力ある持続可能な田野畑村をつくるために、産業の活性化は不可欠で重要な視点です。

しかし、1次産業は、高齢化や後継者・担い手の不足、生産物価格の不安定性、資材の高騰などによる経営の圧迫、それに伴い生産量の減少が喫緊の課題となっています。同様に、商工業においても小売業など小規模事業者における後継者不足、事業承継が課題となっています。

これらの課題を解決するためには、民間企業、第三セクター、産業団体などが連携して担い手の育成や生産・加工・流通・販売の取り組みを進める必要があります。

このことから、1次産業の担い手の確保や育成、経営の強化、高付加価値化に向けた具体的な取り組みへの集中支援、各産業分野における収益向上と雇用機会の創出を図ります。

●農業の振興

高齢化に伴う生産量減少対策のための地域内連携・支援体制の構築を検討します。

資材高騰や子牛価格の下落が経営を圧

迫している畜産農家に対し、草地更新および飼料用作物の新規作付けに係る経費の一部を助成し、自給飼料生産を継続的かつ安定して行える強い基盤づくりを支援します。

また、向こう5年間の計画で草地整備や造成などを行い、持続可能な畜産振興に取り組みます。さらには、昭和53年に開設し、老朽化が進行している村営長嶺牧野の畜舎について、今後、畜産農家との協議を重ね、将来を見据えた施設のあり方を検討します。

●水産業の振興

サケをはじめとする主力魚種などの記録的な不漁が続ぎ、放流用のサケ稚魚の確保もままならない、先の全く見えない状況となっています。

このような中、「田野畑ワカメ」のブランド化を目指すため、令和4年9月に「田野畑ワカメブランド化推進協議会」を設置しました。田野畑ワカメのブランド化に向けた協議を行い、▼生産量および生産技術に関すること▼流通・販売および加工・特産品化に関すること▼人材確保に関すること―を取り組み方針としたところです。具体的には、ワカメのポ



活力ある1次産業を振興します

イル加工を行う共同1次作業場の整備や契約型養殖の拡大、田野畑ワカメの商品化支援、イベント出店などによるPR促進、ならびに優位性を科学的に証明するための成分分析研究などに引き続き取り組めます。

本村のワカメ生産は、高齢化や担い手の減少、生産費用の高騰により厳しい経営状況が続いています。一方で高品質な田野畑ワカメは市場関係者からも高く評価いただいております。村の主力商品確立に向けて生産量の拡大が求められています。生産者の作業の効率化や働き方改革にも対応していくため、生産者が使用できるボイル加工施設を整備し、ワカメ養殖業者の維持・継承を支援します。

また、「水産資源造成事業」を継続し、磯根資源の回復に向けてアワビ稚貝放流に取り組みます。

●林業の振興

ナラ枯れの被害が拡大しており、深刻な状況となっております。被害の拡大を防ぐためには、いち早い防除が必要であることから、私有林に対する「森林病虫害等防除事業」、村有林においては「公有林村営造林事業」を引き続き実施します。

高齢化などにより施業従事者および森林作業技術を持った人材が減少していることから、山林所有者自らがナラ枯れ被害木を駆除する手法、ナラ枯れ被害木の駆除方法、チェーンソー、刈払い機の作業技術を習得するための講習会を開催し

●道の駅たのはた

道の駅たのはた「思惟の風」は、地域振興の核施設として、新たなにぎわい創出の場としなければなりません。道の駅を拠点とした地域活性化や道路利用者の利便性向上などの観点から、三陸沿岸道路から直接道の駅たのはた周辺への相互乗り入れ早期実現に向けて、関係機関と連携を密にして取り組みます。

近隣地に民間事業者が出店を検討して



道の駅を拠点に地域活性化を図ります

ます。

平成31年4月から開始された「森林経営管理制度」に基づき、森林機能の管理保全および持続可能な森林経営を推進するため、森林所有者の意向調査を引き続き行うとともに、令和4年度の意向調査の結果で所有者が村に委ねた森林の整備を実施します。

村内でも鳥獣被害が拡大しており、昨年にも二ホンジカ、イノシシなどの野生動物による農作物への被害が相次ぎました。これらの野生動物は、山林近くのやぶや耕作放棄地を格好のすみかとするため、高齢化や人口減少が進み、遊休農地が多くなり、環境整備に手が回らない集落では深刻な問題となっております。今後も村鳥獣被害防止対策協議会の活動協力を得ながら、被害防止に努めます。また、狩猟者の担い手確保のため、狩猟免許取得のための補助も行います。

●観光振興

観光推進体制の強化として、新型コロナウイルス感染症の第5類移行による行動制限緩和に伴い、本村の恵まれた自然とその豊かな恵みを受ける1次産業との連携による観光商品の開発・実施に取り組むほか、

いるという話も寄せられており、道の駅との相乗効果や、村内への滞留人口の増加へと波及効果も大いに期待されることから、出店に向け支援します。

たのはた産品の地域ブランド化を推進するため、1次生産者と地域の商工業者などが連携して村産品を活用した商品開発に取り組み、付加価値を高めたブランド化を進めます。

また、令和3年度に整備した「地域の加工場」を活用し、加工商品の充実と、さらなる高付加価値化を図るほか、併せて、たのはたブランド産品のPRや、観光融合の取り組みによって関係人口の増大につなげ、地域内の経済循環の活性化

情報発信を強化します。

また、観光プログラムの開発に合わせて、主力となる体験型観光の推進などの観光施策を強力に推進します。6月には、本村を含むみちのく潮風トレイル沿線4県29市町村による「(仮称)みちのく潮風トレイル関係自治体協議会」が、宮城県名取市で設立される予定となっております。協議会加盟市町村と連携を図りながら、トレイル愛好者の誘客にも努めます。



体験型観光の推進を図ります(写真はみちのく潮風トレイル)

を図り、地域内雇用の増加などによる持続可能な地域づくりの実現を図ります。

田野畑村6次産業化推進協議会への委託事業として、農林漁業者や団体が取り組む特産品開発や既成製品の改良・普及支援、村産品の魅力発信や交流活動を継続します。また、田野畑ワカメのブランド化に向け、専門家の指導を仰ぎながら具体的な販売戦略を構築します。

さらには、産業界連携強化事業として、担い手の不在や事業者・分野・地域間の連携不足により取り逃している付加価値を見いだし、新たな仕事や特産品を創出するため、田野畑村産業開発公社が担うべき役となり、産業界の連携を強化します。

村政運営

3

自治会などの活性化・安心して暮らせるむらづくり

むらづくりの根幹として、自治会活動が重要な役割を担っています。地域の課題解決や地域づくりは、地域住民が主体となり協力して取り組むことが重要ですが、高齢化や人口減少に伴い地域活動の衰退傾向が顕著となっております。今までは違った形の支援策の検討が求められています。

「ここに住みたくなる村・ここで子育てしたくなる村」と思っていたため、

地域の魅力を高める自治会活動の支援のほか、地域の良さを再発見する活動の推進など、自分たちが暮らす地域に自信と誇りを持つことが重要と考えています。

令和5年度においても、「地域づくり交付金」や「協働のむらづくり推進事業費補助金」による支援のほか、地域と行政との情報交換がより円滑になるよう、橋渡し役としての地域協働隊職員制度の効果的な運用を図ります。

そのうえで、地域課題の解決に向けた地区懇談会や各種対話と実践を積み重ねながら、将来を見据えつつ、暮らしやすい地域づくりの方向性を地域とともに検討していきます。

近年、地球温暖化などの気象変動の影響により、未曾有の大災害が全国各地で発生しています。尊い命や財産などが脅かされており、その危険は、本村も例外ではありません。



防災機能の強化を図り、安心な暮らしを支えます

村民の命と財産を守るため、「田野畑村地域防災計画」や「田野畑村地域強靱化計画」に基づき、津波避難方針の見直しや、防災機能の強化を図り、安心で安全な暮らしを支えていきます。

令和5年度においては、消防団の緊急出動をより迅速化するため、購入から27年が経過し、老朽化している消防ポンプ自動車（羅賀）の更新を行います。

また、消防団員などの処遇改善を図るため、消防団員の報酬ならびに出勤手当の改善および活動の際の装備の充実、女性消防協力隊員の報酬を改善します。

高齢化の進展や、村内外との移動、交流のために、公共交通の維持および確保の重要性が日増しに高まっています。対応策として、地域公共交通計画を策定し、総合的な交通対策を推進します。

このうち、田野畑村総合バス「タノくんバス」は、児童生徒の登下校を中心として運行していますが、児童生徒のみならず村民のニーズに合わせたコースやダイヤなどの見直しを図りながら柔軟に運行していきます。

地域公共交通活性化協議会が運営する、予約型デマンド交通「くるもん号」についても、利便性の向上を図るほか、料金

チャンスと捉え、村への誘客や特産品の売り上げ増加につながるような取り組みを行いたいとも考えているところです。

むすびに

以上、令和5年度にかかる所信および施策の一端を申し述べました。

これらに要する予算総額は、一般会計34億3千万円余り、特別会計を含めた全会計では50億4千万円余りとなりました。対前年比、一般会計で1.7%、全会計では1.4%の増加となりました。

令和5年度の予算編成に当たっては、昨年度と同様に人口減少や少子高齢化、各災害復興事業の完了などの影響により、税収の減少が見込まれる中、限られた財源を有効に活用するため、継続事業の精査や縮減に取り組むとともに、経常経費の見直しを図りました。

特に、過去の大型投資事業に伴う起債の償還、いわゆる借金の返済額が令和6年度にピークを迎えます。本村の一般会計の総額が30数億円の規模の中で、償還の財源に5億円超も向けなければなりません。次年度以降も償還の高止まりが続く「財政健全化」を旨とした予算編成が続くこととなります。

しかし、村民生活への影響を避けるためには、事業の選択と集中、事務事業の見直し、そして知恵と工夫を総動員して何としても乗り切らなければなりません。そのうえで、長年の懸案事項となってい

体系のあり方の検討を引き続き行い、利用しやすい公共交通体制の構築に努めます。

加えて、三陸鉄道は、専門医などへの通院や高校への通学で利用され、村民にとって欠かすことのできない重要な交通機関となっています。コロナ禍で利用客が落ち込む中であって、本村としても「マイレールさんてつ」の基本に立ち返り利用促進を呼び掛けていきます。

村政運営

4

持続可能な行財政運営

村の財政状況は、経常経費率の上昇に伴い硬直化が顕著となっています。今後も人口減少や高齢化率の上昇などが予測されており、行財政運営を取り巻く環境は引き続き厳しくなるものと予想されます。

しかし、住民への行政サービスの低下を避けるため、令和3年11月に策定した「第6次田野畑村行財政改革大綱」および「第6次田野畑村行財政改革プラン」

る新庁舎の建設に見通しを立て、住民や職員の活力や意欲の向上を図りたいと考えています。

今、NHK大河ドラマで放送されている「どうする家康」の第1話の中で、のちの徳川家康となる元康が「武をもって治めるのは霸道、徳をもって治めるのが王道」と叫ぶセリフがあり、心が揺さぶられました。

私は、村政は、村民の皆さまとの対話、さらには説明責任が大切であり、オール田野畑・ワンチームの体制を日頃から構築したいと訴えてきました。

むらづくりの主役は常に村民です。村政を運営していくに当たっては、村民の力を一つにまとめることが何よりも大きな力になると考えています。

村民が同じ目的のため、心を一つにして確実に歩みを進めることができる体制を構築することが、私に与えられた使命だと認識しています。

そのためにも、権限によって治めていくことではなく、村民一人一人の声を大切にし、村民総参加のもとに政策を立案し、実行するむらづくりを進める所存です。

令和5年度が、村民一人一人が将来に希望の持てる住みよいむらづくりに向けて飛躍する年となりますよう、引き続き、議員各位をはじめ、村民の皆さまの村政運営に対するなお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

が日々登場したところです。寄付者の方からは特に使途は指定されていませんが、その思いを重く受け止め、議会などと協議・相談を重ねながら使途を決めていきたいと考えています。また、本村に対する注目が高まっていることを

未来に向けた人づくりの使命を自覚し 村民を挙げて教育行政を推進していく

令和5年第2回村議会定例会で相模貞一教育長が、教育行政運営の基本的な考え方や主な施策などを示した教育行政方針を述べました。



はじめに

令和2年より命をはじめ、生活経済や学習機会までも脅かす新型コロナウイルス感染症のまん延は、新たなオミクロン株により現在も子どもたちの学びや生活に大きな影響を与えています。

今後とも、児童生徒の健康・安全を第一に考えながら、適正な感染予防対策に取り組み、学びの保障に取り組んでいきます。

令和5年度田野畑村教育施策を定めるに当たり、田野畑村総合計画と整合を図りながら、総合教育会議において策定された「田野畑村教育大綱」に基づき、教育行政を推進します。

そこで、国・岩手県教育委員会の施策を参酌しつつ、田野畑村教育委員会の重要施策について申し上げます。

1 学校教育の充実

子ども一人一人の個性の伸長と学びの場を保障するために、お互いに認め合い、支え合う学校風土と、「主体的・対話的で深い学び」を行う教育環境の実現を目指します。

① 生きる力を育む教育

子どもたちが、▼確かな学力▼豊かな心▼健やかな体―を総合的に兼ね備え、変容する社会に適応し、社会を創造するための「生きる力」を育む教育を進めます。

② 新しい時代の学校経営の展開

これからの時代を担う子どもたちの成長を村を挙げて支えるための教育環境を構築するため、教育振興運動、地域学校協働活動、そして、学校・家庭・地域が目指すべき目標やビジョンを共有し、より一層の連携・協働する「コミュニティ・スクール」を導入し、田野畑村ならではの教育環境づくりを目指します。

③ 学校教育を支える学びの基盤づくり

子どもたちの学びの充実のため、小・中学校に高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を図るとともに、先端技術の活用を推進するため、学校ICT利活用のための基盤整備とその活用を進めます。

2 学校教育の指導の重点

① 幼・小・中連携教育の視点に立つた教育活動

令和5年度開園の子ども園・小・

中学校それぞれ1校の本村の利点を生かし、幼・小・中学校15年間を見通した幼小中連携教育に取り組みます。田野畑村の自然・人・文化の良さを、豊かな体験活動を通して学ぶ「田野畑学」を研究・実践し、ふるさと田野畑村に愛着と誇りを持ち、日々変容を続ける予測困難な社会の中でも志を高く持ち、自分の可能性を信じて人間形成・自己実現に向けて立ち向かうことのできる子どもたちを培います。

② 確かな学力を保障し、生き抜く力を育む教育活動

確かな学力の育成のため、生きる力の基盤となる知識・理解の確実な定着を図るとともに、学んだことを活用して課題を解決する力を育み、学びに向かう力・人間性などを総合的に育みます。

「主体的で・対話的で深い学び」の実現を期して、村標準学力検査を小・中学校全学年で実施・分析などを通じた授業改善に取り組みます。

小・中学校に整備を進めたICT教育環境を活用し、主体的かつ創造的な学習が進められるよう教職員の授業力向上を図るとともに、

学校事務の適正化・効率化を図るなど、教職員の資質向上および教職員の働き方改革にも努めます。

令和2年度から小学校5・6年生で本格実施されている教科化された外国語教育では、引き続き外国語指導助手・推進員を配置し、指導者への支援・指導の充実を図ります。中学生の海外派遣研修の実施を検討し、意図的計画的に外国語や外国の文化に触れる機会をつくり、児童生徒の国際性、積極性を高め、異文化理解を深めます。

③ 豊かな人間性や社会性を育む教育活動

自他の命を大切にし、他者の人権を尊重する教育を推進するとともに、「特別の教科 道徳」を中核とした道徳性の育成や小中連携教育の研究・実践による田野畑学での体験・奉仕活動、読書活動の充実により心の涵養に努めます。

不登校やいじめをなくすため、児童生徒一人一人がお互いを尊重し合う学校風土づくりと、「学校いじめ防止基本方針」に基づく未然防止と、いじめ事案への適切な対応に努めます。不登校対策では、児童生徒に寄り添った支援の充実に取り組みます。

④ 健やかな体を育む教育活動

運動やスポーツに親しむ習慣や

能力を身に付けるように、小中学校の教科体育や業間運動の充実、部活動指導員の配置やスポーツ少年団活動と連携を図り推進します。

学校給食での食に関する正しい理解と安全安心な食を選択できる力を養うとともに、家庭と連携した食習慣や食事マナーの向上を図ります。

⑤ 多様な支援の充実を図る教育活動

児童生徒の安全・安心な教育活動を保障することや、特別支援学級の設置・充実により個別の支援に注力するとともに、児童生徒の自立や社会参加に必要な力を育むため、特別支援教育支援員を配置します。

教育の機会均等のために、ニーズに対応した就学援助や奨学金の貸与を行います。

児童生徒が安全安心で快適に学べるよう学校施設の適正な管理に努めます。

3 青少年の健全育成、生涯学習、スポーツ活動、芸術・文化

人と人、人と地域がつながる機会を充実し、様々な学習活動、スポーツ活動、歴史・文化資源にふれることで、心豊かに生きがいを持って暮らすことのできる社会の

実現を目指します。

① 個々の学習や活動意欲を盛り立て支援する活動の展開

各種社会教育事業、生涯教育の事業を村民のニーズに応じて、計画的な取り組みを行い、発表や交流機会となる村民文化展の開催や郷土芸能発表会の開催を支援します。

全県共通課題と推進区ごとの課題に基づいた教育振興運動の進展を図るため、推進区ごとの体制の整備と相互の交流や地域学校協働活動やコミュニティ・スクールとの連携・協働を進め、その取り組みの発表の場や村民の研修の場として「田野畑村教育のつどい」を開催します。

地域や家庭の教育力の充実・向上のため、発達段階に応じた家庭教育学級を開催し、子どもたちの健全育成や基本的生活習慣の確立を目指します。

友好都市である深谷市との小学校交流事業の実施を検討し、児童の交流を深めます。

② スポーツ活動への関心を高め、健康寿命をのばす活動の展開

中学校部活動地域移行への指向やスポーツ少年団活動などの充実のため、推進体制の構築を図るよう、村体育協会、スポーツ推進委

員、各種団体などにより一層の連携を図るとともに、村民のスポーツ活動を推進し、村民の健康と生きがいづくりに努めます。

体育施設の適正な維持・管理に努め、利用者の利便性の向上に努めます。

③ 貴重な文化財や郷土芸能の保存・継承の活動の展開

村民文化展や青少年劇場を開催し、村民や児童生徒の芸術文化活動の振興を図ります。

芸術文化活動の振興のため、村芸術文化協会や郷土芸能伝承団体および各種サークルの支援を行います。

指定文化財や希少動植物をはじめ、貴重な文化財を後世に伝えていくため、適正な保存と学習への活用を図ります。

むすび

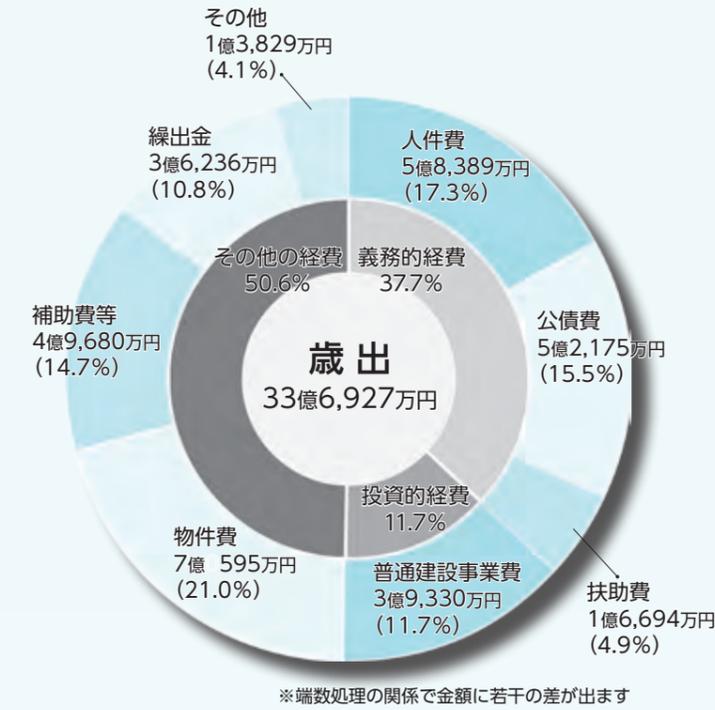
田野畑村の未来に向けた人づくりの使命を自覚し、子どもたちはもとより村民を挙げて、より一層学習に取り組めるように、田野畑村の教育行政の推進に鋭意努めます。

議員の皆さまをはじめ、村民の皆さまのご理解とさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度の主な事業

【人口減少・少子高齢化対策】	
認定こども園運営事業	1億 502万円
地域おこし支援事業	3,628万円
特別支援教育支援員配置事業	1,742万円
生活支援ハウス運営事業	1,131万円
シルバーサポーター設置訪問事業	666万円
エンゼル祝い金給付事業	240万円
義務教育入学および卒業祝い金支給事業	228万円
【活力ある産業振興】	
観光振興企業経営改善支援事業	4,179万円
村営牧野管理運営事業	3,339万円
田野畑ブランド推進による地域しごとづくり事業	3,278万円
森林病虫害等防除事業	1,637万円
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	1,078万円
水産資源造成事業	865万円
産業間連携強化事業	550万円
地域資源ブランド化推進事業	210万円
【自治会等の活性化・安心して暮らせるむらづくり】	
村道沼袋三沢線道路改良舗装事業	1億 458万円
総合バス運行事業	5,330万円
平井賀漁港施設機能強化事業	5,400万円
消防自動車整備事業	2,552万円
地域づくり交付金	830万円
協働による地域づくり推進事業	104万円
【持続可能な行財政運営】	
ふるさと納税推進事業	301万円

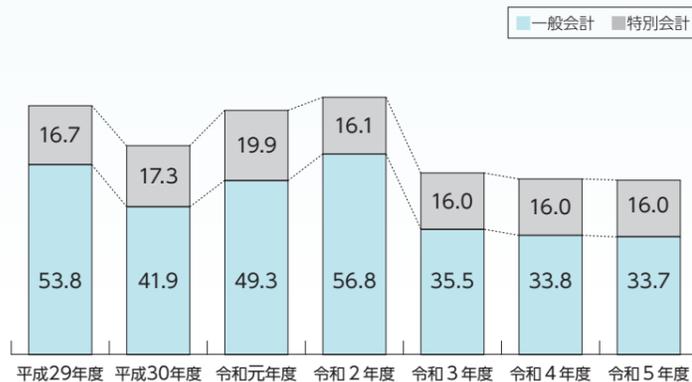
令和5年度一般会計歳出予算の状況



◎用語の説明

- 歳出…1会計年度に村から出ていくお金の見積もり
- 義務的経費…職員の給与や社会保障などに使われるお金
- 投資的経費…施設や道路など、将来に残るものに使われるお金
- 人件費…村職員の給与や議員・委員などの報酬
- 公債費…村の借金の返済
- 扶助費…要介護高齢者・高齢者などの生活維持や保育活動に使われるお金
- 普通建設事業費…道路や公共施設の建設事業などに使われるお金
- 物件費…消耗品や備品の購入、光熱水費などに使われるお金
- 補助費…村が交付する補助金や他の団体と共同で事業を行うための負担金
- 繰出金…特別会計に充てられるお金

一般・特別会計の当初予算規模の推移【単位：億円】



新年度予算の概要

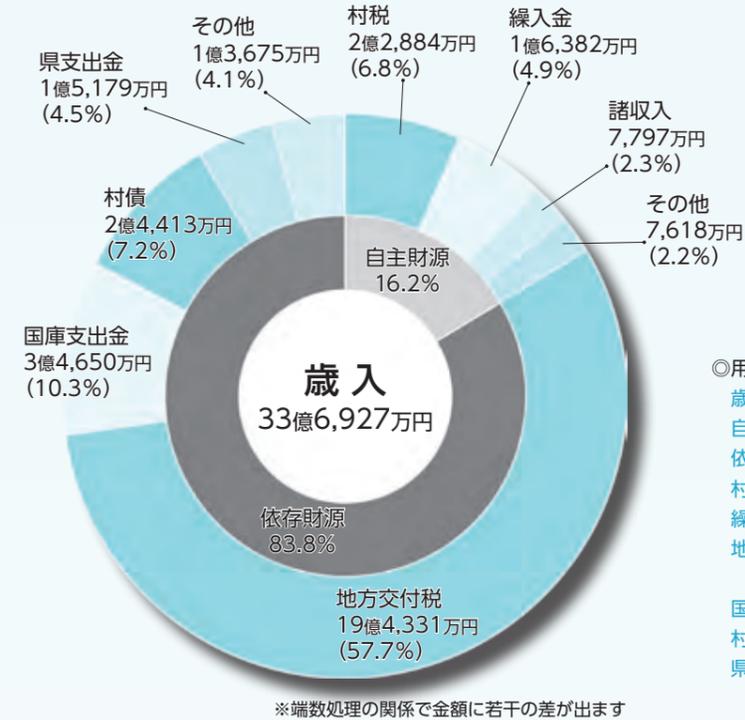
一般会計33億6千万円余り、特別会計を含めた全会計では49億7千万円余りとなりました。

認定こども園運営事業や村道沼袋三沢線道路改良舗装事業などを盛り込みましたが、前年比、一般会計で0・32%、全会計で0・03%の減少となりました。

主な要因は、保育所運営事業や村道十字線道路改良舗装事業、ラジオ中継局設備更新事業の減額によるものです。

新年度の予算編成に当たっては、昨年度と同様に人口減少や少子高齢化、各災害復興事業の完了などの影響により税収の減少が見込まれる中、限られた財源を有効に活用するために、継続事業の精査や縮減に取り組む、経常経費の見直しを図りました。

令和5年度一般会計歳入予算の状況



◎用語の説明

- 歳入…1会計年度に村に入ってくるお金の見積もり
- 自主財源…村が自主的に集められるお金
- 依存財源…国や県から交付されるお金や村債
- 村税…村民税など、村に納める税金
- 繰入金…基金などから一般会計に繰り入れるお金
- 地方交付税…全ての市町村が一定の行政サービスを行うように国が交付するお金
- 国庫支出金…村が行う事業に対して国が交付するお金
- 村債…借入金のうち長期にわたり返済するもの
- 県支出金…村が行う事業に対して県が交付するお金

令和5年度の予算規模(全会計)

※1万円未満四捨五入
※端数処理の関係で金額に若干の差が出ます

区分	令和5年度	令和4年度	増減	伸び率		
一般会計	33億6,927万円	33億8,025万円	△1,098万円	△0.32%		
特別会計	国民健康保険会計 事業勘定	5億9,176万円	5億8,831万円	345万円	0.59%	
	国民健康保険会計 直診勘定	1億1,882万円	1億1,605万円	277万円	2.38%	
	簡易水道会計	2億842万円	2億578万円	264万円	1.28%	
	集落排水会計	5,947万円	5,792万円	155万円	2.68%	
	下水道会計	3,683万円	3,460万円	223万円	6.44%	
	介護保険会計	事業勘定	5億3,836万円	5億3,539万円	297万円	0.55%
		サービス勘定	970万円	1,038万円	△68万円	△6.54%
	後期高齢者医療会計	4,140万円	4,675万円	△536万円	△11.46%	
	小計	16億4,775万円	15億9,518万円	957万円	0.60%	
	合計	49億7,402万円	49億7,543万円	△141万円	△0.03%	



黙とうや慰霊碑への献花で東日本大震災の犠牲者を追悼する参加者の皆さん

2011.3.11—2023.3.11
あの日から12年
東日本大震災追悼式
忘れない。震災の記憶

東日本大震災から12年を迎えた3月11日。村内各地で犠牲者への祈りがささげられました。島越ふれあい公園では、東日本大震災追悼式（島越自治親交会主催）が開催され、島越地区の住民や出身者など、村内外から約100人が参加しました。

式では、同自治親交会の鈴木隆昭会長が「かけがえのない多くの命を失ってしまった心の傷や無念、悔しさは今も癒やされることのない。12年前の悲劇を2度と繰り返さないために、津波の恐ろしさを伝承していくことが私たちの使命だ。自治親交会では、今後も追悼式を継続し、亡くなられた方々に寄り添っていく」とあいさつ。参加者は、犠牲者の安らかな眠りを祈り黙とうを行い、園内の慰霊碑に献花しました。

佐々木和子さん（84）＝島越＝は「あの日のことは一生忘れることはない。12年たってもたくさんの人たちが追悼式に参加してくれてうれしい」と目に涙を浮かべていました。工藤諭良さん（14）＝島越＝は「震災当時は2歳。当時の記憶は無いが、震災のことは学校などで学んだ。たくさんの方たちのおかげで復興が進んでいることに感謝したい」と話していました。

令和5年度 **人事異動**

村職員、広域消防職員、学校教職員などの人事異動をお知らせします。

村職員

- ◆ **総務課**
総務・財政班主任主査―角館尚、同主査―晴山美恵子、総務課付け―木村恭平（岩手県派遣）
- ◆ **企画観光課**
課長―工藤隆彦、主幹―大澤健、企画・観光班主査―島山多加子
- ◆ **税務会計課**
税務・会計班主任―小野寺祥史
- ◆ **地域整備課**
課長―平坂聡、地域整備班主任主査兼企画観光課企画・観光班主任主査―工藤光昭
- ◆ **産業振興課**
主幹―佐々木賢司、産業振興班主任主査―工藤真樹、同主事―熊合航大
- ◆ **村診療所**
管理班主事兼歯科診療所管理班主事兼健康福祉課健康福祉班主事―下館航

輝

- ◆ **選挙管理委員会事務局**
主査―島山裕晃
- ◆ **教育委員会事務局**
次長兼学校給食センター所長―佐々木修、主幹―横山順一、主査―三上恵美
- ◆ **新採用**
住民生活課住民生活班主事―中机裕汰、地域整備課地域整備班主事兼管理班主事―島山隼弥、産業振興課産業振興班主事―染矢さとみ
- ◆ **新採用（任期付き）**
健康福祉課地域包括支援センター主査兼健康福祉班主査―大澤広美、同主事兼診療所管理班主事兼歯科診療所管理班主事―藤島美幸
- ◆ **退職者（再任用）**
地域整備課地域整備班主任主査―佐々木卓男
- ◆ **退職者（任期付き）**
健康福祉課地域包括支援センター主事

広域消防

- 兼健康福祉班主事―千葉新平、診療所管理班主事兼歯科診療所管理班主事―佐々木あゆみ
- ◆ **異動転出者**
カッコ内は異動先
- 分署長―岩花一則
（山田消防署・副署長）
 - 副分署長―山口淳
（山田消防署・救急係長）
 - 消防第2係長―金澤秀雄
（消防本部消防課・予防係長）
 - 消防士長―金澤光
（岩泉消防署・消防士長）
 - 消防副士長―熊谷崇文
（岩泉消防署・消防副士長）
 - 消防士―小松山慎
（山田消防署・消防副士長）
 - 消防士―畑中良太
（山田消防署・消防士）
 - 消防士―大下開生
（宮古消防署・消防士）

教職員

- ◆ **異動転出者**
カッコ内は異動先
- ◆ **田野畑小**
主任主査―三上弘幸
（普代村立普代小・主任主査）
教諭―郷内早紀（退職）
教諭―伊藤晋
（洋野町立種市小・教諭）
講師―根木地瑠美
（岩泉町立岩泉小・講師）
講師―山内旭
（宮古市立千徳小・教諭）
 - ◆ **田野畑中**
主任行政専門員―上山邦彦（退職）
講師―中居義秀
（宮古市立崎山中・講師）
 - ◆ **教育委員会事務局**
指導主事―熊谷康弘
（岩手県立総合教育センター）



お世話になりました

山火事に注意しましょう！



昨年、県内では30件の山火事が発生し、そのうち約8割が3～5月の期間に集中しています。

この期間は例年、野山が乾燥し、風の強い日が多くなります。このように、林野火災が起こりやすい気象条件が重なることが原因の一つになっています。

また、春先は行楽や山菜採りのために山に入る人が増加することや、農作業に由来する枯草焼きなどが山林に飛び火することも原因になっています。

火災のほとんどが不注意から発生しています。火の取り扱いには十分に注意し、火災を起こさないようにしましょう。

●山火事防止対策の重点

①強風時や乾燥時には、たき火、野焼き、

火入れをしない

②燃え広がりやすい枯れ草などがある場所では、たき火、野焼きをしない

③たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火する

④火入れをするときは、必ず市町村長の許可を得る

⑤たき火、野焼き、火入れをするときは、必ず消防署に届ける

⑥たき火や野焼きは一人で行わず、水などの消火の備えをする

⑦森林の周囲1キロで行う寄せ焼きや筋焼きによる野焼きは、火入れとみなされる

⑧たばこは指定された場所で喫煙する。吸い殻は必ず火を消し、投げ捨てをしない

⑨火遊びは絶対にしない

子どもの誤飲・やけどに注意



●「ボタン電池」の誤飲

ボタン電池を誤って飲み込むと、気道をふさぎ、窒息を起こす可能性があります。普段から保管場所に注意してください。

ボタン電池が粘膜などに接触すると、化学やけどにより食道や胃の壁を短時間で傷つけ、穴が開いたり潰瘍ができたりします。誤飲してしまったときは、すぐに医療機関を受診してください。

●「たばこ」の誤飲

近年、紙巻きたばこだけでなく加熱式たばこが普及し、一見たばこに見えない製品があります。保管場所に注意するのはもちろんですが、吸い殻をごみ箱に入れておくと、そこから取り出して誤飲する可能性があるため、子どもの手が届かない場所に処分する必要があります。

たばこを誤って口にすると、ニコチン中毒を引き起こし、最悪の場合死に至ります。特に、たばこが漬かっていた液体を飲み込むとニコチンの吸収が早くなり非常に危険です。すぐに医療機関を受診してください。

●「暖房器具」でのやけど

まだ寒い日があり、暖房器具を手放せない家庭も多いと思います。▶子どもがつかまり立ちをした時にストーブに手をつく▶ヒーターの吹き出し口に手を入れる▶ストーブの上に置いたやかんがひっくり返って熱湯をかぶる一など、家庭には多くの危険が潜んでいます。

子どもは皮膚が薄く、やけどが重症化しやすいため特に注意が必要です。「熱いから触ってはいけない」ということを教えていくことが大切です。

紹介図書は、アズビィ楽習センター図書室で貸し出しています

■児童書1位

なぜなラボ#1危険生物ファイル
小宮 輝之 監修



「なぜサメは人を襲うの？」知識ではなく、ヒント写真から自力で答えを考える新感覚クイズ図鑑。クイズに挑戦するだけで考える力が身に付く一冊です。

■一般書1位

母の待つ里
浅田 次郎 著



母のもとに足を運ぶ還暦世代の男女3人。上京して40年、一度も帰ろうとしなかった古里で私を温かく迎えてくれたのは、名前も知らない母でした。

■児童書ランキング

順位	タイトル	著者・監修
1	なぜなラボ#1危険生物ファイル	小宮 輝之
2	ゆるゆる危険生物図鑑	加藤 英明
3	ポケモン大図鑑	小学館
4	どっちが強い!? フクロウvsヤマアラシ	スライウム
5	ジェンナー	十常 アキ

■一般書ランキング

順位	タイトル	著者・監修
1	母の待つ里	浅田 次郎
2	その本は	又吉 直樹 ヨシタケ シンスケ
3	メンタル強め美女白川さん	獅子
4	同志少女よ、敵を撃て	逢坂 冬馬
5	サステイナブルに暮らしたい	服部 雄一郎 服部 麻子

村食生活改善推進員が紹介する健康レシピ



がんづき

※16等分で1切れ当たりの栄養価…エネルギー159kcal

食改さんからひと言…2月に田野畑中の生徒と一緒にがんづきを作りました。混ぜて蒸すだけの簡単でおいしい昔ながらのおやつです。

●材料 (直径 26センチ・蒸し器 1台分)

薄力粉	300g
重曹	大さじ1
三温糖	220g
卵	2個
酢	100ml
無調整豆乳	200ml
黒ごま	大さじ1
くるみ	20g

●作り方

- 蒸し器にお湯を沸かしておく
- 大きめのボウルに薄力粉・重曹を合わせてふるい、三温糖と混ぜる
- ②に溶き卵・酢・豆乳を加えて混ぜる
- クッキングシートを敷いた蒸し器に③を流し入れ、黒ごまと手で砕いたくるみをのせて40分ほど蒸す ※強火20分、弱火20分

お知らせ

知 固定資産税課税台帳を縦覧

固定資産税の課税の基になっている「固定資産税課税(補充)台帳」を縦覧します。

土地の売買や家屋の取り壊しを行った場合に台帳の内容が訂正されていないと、誤って課税されることがあります。忘れずに確認してください。

◆日時…4月3日(月)～5月1日(月)
午前9時～午後5時
※土、日、祝日を除く

◆場所…村役場

◆問い合わせ先…税務会計課
(☎34-2112)

知 固定資産税評価額を減価

令和5年1月1日時点で、土砂災害警戒区域内にある宅地と砂防指定地内にある山林の固定資産税の算定の基になる評価額を減価します。

《土砂災害警戒区域内の宅地》

土砂災害警戒区域(レッドゾーン)は、土砂災害が発生する恐れがある土地を県が法律に基づいて指定する区域です。

建築物の構造規制や一定の開発行為に対する制限などが発生します。

◆減価率…評価額の40%を減価
《砂防指定地内の山林》

砂防指定地は、治水上砂防のための設備が必要な土地や、一定の開発行為の禁止・制限を必要とする土地として国が指定する区域です。

◆減価率…評価額の50%を減価
《共通事項》

◆その他…手続き不要

◆問い合わせ先…税務会計課
(☎34-2112)

募 英会話を学びませんか

「英会話教室 English Cafe ～はじめての海外旅行へ～」を開催します。

◆開催日…5月15日(月)～7月10日(月)の毎週月曜日、7月18日(火)

◆時間…午後6時15分～7時

◆場所…アズビィ楽習センター

◆内容…海外旅行のさまざまなシーンを想定した英会話教室

◆対象…中学生以上の村民、村内の事業所などに勤務する人

◆定員…先着10人

◆参加費…無料

◆持ち物…筆記用具

◆申込期間…4月4日(火) 午後1時～5月8日(月) 正午

◆申し込み方法…電話または、専用申し込みフォームから

◆申し込み・問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)



▲申し込みはココから

募 折り紙で春のリース作り

「おりがみ教室～四季のリースづくり(春編)～」を開催します。折り紙で春の花などを折り、リースを作ります。

◆日時…5月11日(木)、18日(木)、25日(木) 午前10時～正午

◆場所…アズビィ楽習センター

◆対象…18歳以上の村民、村内の事業所などに勤務する人

◆定員…先着15人

◆参加費…無料

◆持ち物…スティックのり、ピンセット(必要な人)

◆申込期間…4月4日(火) 午後1時～4月25日(火) 正午

◆申し込み方法…電話または、専用申し込みフォームから

◆申し込み・問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)



▲申し込みはココから

募 星空観察会の参加者とボランティアスタッフを募集

◆日時

開催日	時間	開催日	時間
5月1日(月)	20:30～21:10	9月21日(木)	19:00～19:40
6月22日(木)	20:30～21:10	10月21日(土)	18:30～19:10
7月28日(金)	20:30～21:10	11月17日(金)	18:00～18:40
8月22日(火)	20:00～20:40	12月15日(金)	18:00～18:40

◆場所…アズビィ楽習センター前広場

◆対象…村民、村内の事業所などに勤務する人

◆定員…先着20人

◆参加費…無料

◆持ち物…懐中電灯、双眼鏡(持っている人)

◆申込期限…開催日の午後3時

◆参加者の申し込み方法…電話または、専用申し込みフォームから

◆スタッフの申し込み方法…電話で申し込んでください

◆申し込み・問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)



▲申し込みはココから

人口と世帯		火災	
3月1日現在()は前月比		(2月21日～3月20日)	
人口	3,046人(-4)	火災の【今月】	0件
男	1,530人(-1)	発生件数【今年】	0件
女	1,516人(-3)	無火災の連続記録	
世帯	1,356世帯(+2)	(3月20日現在)	219日

知 学生の保険料の納付を猶予

国民年金には、所得が一定以下の学生の保険料納付を猶予する「学生納付特例制度」があります。

猶予期間は、4月から翌年3月までの1年間。翌年度も在学予定の人には、4月初めに申請書を送付します。学生納付特例制度の継続を希望する場合は、再度申請が必要です。

◆申請に必要な物

①在学証明書(原本)または、有効期限や学年の記載された学生証

②基礎年金番号が分かるもの

◆その他

①過去2年分までさかのぼって手続きが可能

②学生納付特例期間中の保険料は、10年さかのぼって納付可能

③学生納付特例の期間は、障害年金や遺族年金の受給資格期間になります

◆申請・問い合わせ先…宮古年金事務所(☎0193-62-1963)、住民生活課(☎34-2114)

知 不動産に関する無料相談会

県不動産鑑定士協会では、不動産鑑定士による無料電話相談会を開催します。予約は不要です。

◆日時…4月7日(金)
午前10時～午後4時

◆内容…▶不動産売買▶賃貸借▶相続▶交換▶担保▶訴訟▶行政法規一などに関する相談

◆電話相談・問い合わせ先…県不動産鑑定士協会(☎019-604-3070)

知 国民年金保険料は16,520円

4月からの国民年金保険料は、月額16,520円です。

保険料は1年または、6カ月分をまとめて現金で前納すると割り引きがあり、大変お得です。

4月上旬に送付する納付案内書に、前納用の納付書を同封しますので、利用してください。

◆問い合わせ先…宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

知 悩みや困り事の相談会

暮らしや仕事、お金などの悩みや困り事を共に考えて支援します。電話での相談も受け付けています。

◆日時…4月14日(金)
午前10時30分～正午

◆場所…アズビィ楽習センター

◆電話相談…月曜日～金曜日

午前8時30分～午後5時
※祝日、年末年始を除く

◆その他…相談無料。秘密厳守

◆電話相談・問い合わせ先…宮古圏域くらしサポートセンター(☎0193-65-8815)

知 4月18日はヨイ歯の日

県保険医協会では、歯や口の中の健康に関する無料電話相談「ヨイ歯デーテレホン相談」を実施します。

◆日時…4月18日(火)
午前10時～午後7時

※午後7時以降に歯科医師から相談者に電話で回答

◆相談料…無料

◆電話相談…県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係(☎019-651-7341)

知 家畜飼養状況の報告を

家畜を飼養している人は、毎年、飼養状況の報告が法律で義務付けられています。2月1日時点の飼養状況を報告してください。下記の家畜は、愛玩用でも報告が必要です。

◆報告期限と家畜の種類

①4月15日(土)…牛、水牛、鹿、馬、綿羊、ヤギ、豚、イノシシ

②6月15日(木)…鶏、アヒル、ウズラ、キジ、ダチョウ、ホロホロ鳥、七面鳥

◆報告方法…家畜保健衛生所などから配布されている定期報告書様式に2月1日時点の飼養状況を記載して提出

◆報告・問い合わせ先…県中央家畜保健衛生所(☎019-688-4111、FAX019-688-4012)

知 義肢などの巡回相談を実施

◆日時…5月16日(火) 午前10時30分～午後1時30分

◆場所…宮古市総合福祉センター(宮古市小山田2-9-20)

◆申込期限…4月28日(金)

◆申し込み・問い合わせ先…保健センター(☎33-3102)

知 勤務体制が変わります

4月1日から岩泉土木センター建築指導課職員の勤務体制が変わります。

◆勤務日…毎週火曜日、木曜日
※祝日、年末年始を除く

◆その他…来庁するときは事前に連絡をお願いします

◆問い合わせ先…岩泉土木センター(☎0194-22-3114)

？ 広報クイズ ？

正解者の中から抽選で3名様に、タノくんキーホルダーが当たります。



◆応募方法…はがきに問題の答え、住所、氏名を書いて、村役場企画観光課にお送りください。当選者の発表に氏名の掲載を希望しない人は、氏名と一緒にペンネームやインシヤルなどを書いてください。

◆締め切り…4月14日(金)

Q たのはた児童館と若桐保育園の卒園児は合計何人？

- A) 18人
- B) 19人
- C) 20人

■前号(3月号)の正解 Q→A

■先月当選者
上山 明美さん(田野畑)
ペンネーム タノばあさん

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(3月22日現在)

寄付金総額	9306万2226円 1708件(村内142件、県内312件、県外1254件)
取り崩し額	2652万 347円
基金残額 (運用益を含む)	6654万1879円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。企画観光課(☎34-2111)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間: 4月1日(土)～5月1日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
4月7日(金)	田野畑小学校入学式	田野畑小学校体育館	10:00～10:30	田野畑小学校(☎34-2050)
	田野畑中学校入学式	田野畑中学校体育館	13:00～13:45	田野畑中学校(☎34-2301)
19日(水)	乳幼児健診	旧保健センター	12:00～15:30	保健センター
28日(金)	健康相談	北山地区総合センター	10:00～11:00	
5月1日(月)	固定資産税1期 軽自動車税 納期限			税務会計課

村役場(代表) ☎34-2111 / 税務会計課 ☎34-2112 / 地域整備課 ☎34-2113 / 住民生活課 ☎34-2114
教育委員会 ☎34-2226 / 医科診療所 ☎33-3101 / 歯科診療所 ☎33-3100 / 保健センター ☎33-3102

田野畑中卒業生に聞きました

「大人になったら何になりたい?」

田野畑中の卒業生を代表して、6人の皆さんに夢や目標を書いてもらいました。



熊谷 新太さん = 浜岩泉 =



佐藤 萌生さん = 田野畑 =



佐藤 啓一郎さん = 田野畑 =



町平 秋桜さん = 菅窪 =



山根 理乃さん = 羅賀 =



横田 興樹さん = 集合 =

おめでた おくやみ

〔令和5年2月届け出分〕

(敬称略)

●健やかに ～誕生～
佐々木 翠(すい)くん
祐介・瞳 西和野

■安らかに ～お悔やみ～
佐々木 公哉(65) 明戸
坂本 克志(54) 田野畑
畠山 積(86) 集合

※この欄に掲載してほしい人は、届け出のときに戸籍係の窓口に申し出てください

夢は獣医師になること 動物たちの命に寄り添いたい

私は、スポ少バレー田野畑VBCでキャプテンをしています。ポジションはセッターです。

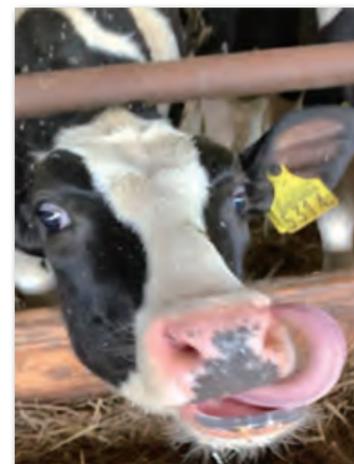
チームの目標は県大会ベスト8。キャプテンとして、大きな声でチームを引っ張り、連携プレーで流れを引き寄せたいです。

夢は獣医師になることです。4年生の時に北里大学獣医学部を舞台にした「犬部!」という本を読み、興味を持ちました。動物たちの命に寄り添い、助けることができる獣医師になりたいです。



佐藤 香子さん

さとう・かこ 田野畑小6年



舌を出す牛さん

放牧地の草を器用に舌で巻き取って食べる姿はとても癒される光景です! 普段、おいしい牛乳が飲めるのは、牛さんが舌を器用に使い、たくさんの草を食べているからです。そう考えると、牛さんに感謝の気持ちでいっぱいです!

牛タンは超ロング
まだ朝晩の冷え込みは厳しいですが、だんだんと日中の気温がポカポカしてきて、春の訪れを感じるようになってきました。季節の変わり目に体調を壊さないために、今日も牛乳を一杯! 牛舎では、相変わらず牛さんにペロペロされて全身マッサージを受けています(笑)。牛さんから離れていても、ペロロンと長い舌を伸ばしてなめてきます。

牛の舌(タン)の長さは約40センチと、とても長いのが特徴です。その舌で餌を口の中に運ぶのはもちろん、体がかゆければ首を大きく振り、力強くなめたり、鼻の中を掃除したり、人間の手のように器用に使っています。何度見てもとても長いなあと感じます。重さは約1kg、2kg。食肉用として飼育されている黒毛和牛だと約3kg、4kgもあるそうです。

たのはた暮らし

地域おこし協力隊の

No.75



中野渡 和也さん

★仕事は？

村漁業協同組合で市場や購買業務を行っています。村の水産業に携わることができてうれしく思っています。

★休日は何をしていますか？

草野球チームに所属して、仲間と一緒に汗を流しています。最近、薫製にはまっています。薫製とお酒を片手に遠くに住んでいる友人とオンライン飲み会を楽しんでいます。

★理想のタイプは？

一緒にいて落ち着く人です。

★今、頑張っていることは？

組合員の皆さんの力になれるように、日々業務を頑張っています。

★最後に一言お願いします！

生まれ育った村のため、水産業発展のために一生懸命頑張ります。



三浦 健太郎^{けんたろう}さん(28)＝西和野＝

わが家の
アイドル

中村 天奏^{てんか}ちゃん(1歳3カ月)
知史さん・胡桃さん＝菅窪＝

お母さんからのひとこと

ご飯やみそ汁好きの和食派。果物はミカンとバナナが好きで、とにかく食べるのが大好きです。

毎日お兄ちゃん2人を追いかけて、元気いっぱいいろいろなことに挑戦しています。どんなときも笑門来福を忘れずに大きくなってね。

編集ごぼれ話

▼東日本大震災から12年が経過しました。あの日、消防士として現場の最前線で見えた光景は一生忘れることはありません。震災で犠牲になられた方々にあらためて哀悼の意を表します。▼3月は別れの季節です。卒業、卒園を迎えた皆さん、おめでとうございませう。皆さんの晴れ姿を撮影する予定でしたが、目の調子が悪く撮影が困難に…。悔しい思いを抱えながら、前任の担当者に代打を依頼しました。▼待ジャパンが世界一に輝き、日本中が熱狂に包まれたWB C(ワールドベースボールクラシック)。日本代表に選ばれたものの、けがで代表を外れたシカゴ・カブスの鈴木誠也選手は「本当に悔しい」と無念の辞退。私の悔しさは鈴木選手と全く同じです。この悔しさをバネに、広報担当2年目も全力で駆け抜けたいと思います。皆さん取材へのご協力よろしくお願ひします。(企画観光課 佐々木 祐介)

